

2 調査相談事務

(1) 回答事務

近代図書館の大きなウェートを占めるこの業務もようやく利用者に理解が行きわたって、記録された件数も年々増加してきている。特に参考資料を大幅に公開し、また精選取書したことによって、来館した利用者は、自由に調査をしているので、これらをも記録されるならば相当数になるものと思われる。ただ文書による本県関係に関する調査依頼は、多分に研究的なものが多く、単に資料によるだけでは回答し兼ねるようなものもあり、利用者に代わってこの業務をなすことが使命とはいふものの、その範囲を越えるようなものもあり、あまり丁寧に回答することが、つきからつきへと調査を依頼されることになるということもあったようである。こういったことからマニア的な回答に対する労力の度合をどの程度までにとどめるか将来検討する必要がある。今後は困難なあるいは未解な問題等はカード化して整理し、この業務の能率化、組織化を図らなければならない。 → (表4)

(2) 特許関係サービス

工業化が進むにつれて、これらに対する関心も高まり、その利用もまた数年前と比較すると著しいものがある。特に複写によるサービスが実施されて以来、もっとも便利になったのがこの部門であろう。幸い当館では各部門にわたって明治以来のものがあり、県外からの閲覧者も多い。昨年度からはいわき市図書館にも配置されることになるので、会津若松市とともに相互連絡を密にして業務能率をあげるような方策をとる必要がある。 → (表5)

(3) 複写サービス

本格的に実施した昨年度から、エレクトロニック・リコピーによるサービスは利用者に大変喜ばれ、その件数は急速な伸びを示し、処理に迫られる現状となり、専門の係を置かなければ処理しきれなくなっている。 → (表6)

(4) 補助資料(ツール)の作成

① 郷土関係新聞の記事索引

昨年まではクリッピングを実施してきたが、これをより体系的に、広く索引化することによって、新聞の利用を便利にするためにこの方法にふみきったのである。はじめてのことであり、他館のものを参考とすることも、また十分とは言えず、試験の実施段階として2～3年かかるものと思う。400に近い件名を作成、①読者の投稿によるもの、②他の資料でより確実にわかる統計類、③一団体、一機関の部内の記事④単なる季節の記事、⑤公告、公示など、⑥解説記事、⑦予告の記事、⑧他の事件に関連のない小さな記事、⑨日常的に連載される記事等をのぞき、カード化し、件名を付して、排列するのであるが、本年度はとりあえず昭和44年度の民報、民友両紙において実施、約10,000枚のカード化を行なった。今後は45年度以降と43年度以前との両方向へカード化を実施して行き、これが冊子を作成することによって、閲覧に供するようになるとともに、新聞のマイクロ化の索引として重要なものになると考えられる。

② 特許関係県内出願者名簿

これも前記県内3館の所蔵により、本館が中心となって、ますます重要になるものと思われ、本年度からは資料の確実

性を尊重する意味からも、複写コピー化をすることにした。

(5) 過去5カ年間の利用状況の推移

利用者数を見るとさしたる動きもなく、むしろ、若干少なくなっているかも知れないが、これは入館者の80%を占める学生生徒の場所借りの数字がそのままであり、現在の館の規模からこの位の人員が限度であることを示しており、図書館奉仕としてさして問題とすべき数字ではない。利用図書冊数における年々の伸び率は上昇の一途をたどり、特に館外個人貸出の数は5年前とは約3倍となっている。これはいかに現代人が忙しく、また読書というものは、本来個人がなすべきかを如実に示しているものであり、利用者の立場を考えて図書館が積極的姿勢を打ちだしたと自負しても差支えないものと思う。しかしながら全県の立場に立って見るならば、まだまだ低い数字であり、現代人の生活に図書館がもっと密接に結びつく努力は予算面においてまだまだ不十分であるよう

(表1) 利用者数 (昭和44.4～45.3)

職業別	人員	館内 (人)	館外 (人)	計 (人)	構成比 (%)
1 勤め人	4,605	3,423	8,028	8.3	
2 自家営業	355	325	680	0.7	
3 主婦	174	1,118	1,292	1.4	
4 学生・生徒	64,678	13,901	78,579	81.4	
5 児童	4,451		4,451	4.6	
6 無職その他	2,466	1,024	3,490	3.6	
計	76,729	19,791	96,520		
男女別内訳 (男)	44,733	10,714	55,447	57.4	
(女)	31,996	9,077	41,073	42.6	
1 勤め人 (男)	3,777	2,611	6,388		
(女)	828	812	1,640		
2 自家営業 (男)	355	325	680		
3 主婦 (女)	174	1,118	1,292		
4 学生・生徒 (男)	35,996	6,921	42,917		
(女)	28,682	6,980	35,662		
5 児童 (男)	2,504		2,504		
(女)	1,947		1,947		
6 無職その他 (男)	2,101	857	2,958		
(女)	365	167	432		

開館日数 278日、1日平均 347人

(表2) 利用図書冊数 (昭和44.4～45.3)

分類別	冊数	館内 (冊)	館外 (冊)	計 (冊)	構成比 (%)
0 総計	3,625	668	4,293	6.3	
1 宗教・哲学	1,243	1,557	2,800	4.1	
2 歴史・地誌	2,554	2,147	4,701	7.1	
3 社会科学	3,279	4,248	7,527	11.8	
4 自然科学	2,153	2,228	4,381	6.5	
5 工学・工業	1,218	1,086	2,304	3.4	
6 産業	745	611	1,356	2.1	
7 芸術・娯楽	1,437	2,115	3,552	5.1	
8 語学	613	566	1,179	1.9	
9 文学	3,873	13,917	17,790	26.3	
児童雑誌	13,281	2,580	15,861	23.2	
雑	1,296	176	1,472	2.2	
計	35,317	31,899	67,216		

1日平均利用冊数、人員
 (うち館内 240冊 347人
 館外 127冊 279人)
 113冊 68人)